

民主島根

2017年
4.23
第1286号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

4/16政治戦 1市2町で4人が当選

「原発ノー」「いのち・くらしを守る」

橋・吉儀・田中・村上氏当選、米田氏惜敗

松江市長・市議選、隠岐の島町、邑南町の両町議選が16日投票されました。市長選は日本共産党が推薦した山崎泰子氏が大健闘し、市議選では橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の各氏が現有3議席を守りました。隠岐の島町議選では、村上三三郎（みさろう）氏が党議席空白を克服し、邑南町議選は、米田美佐男氏が次点で及びませんでした。

松江市議選 橋・吉儀・田中氏3議席確保

日本共産党の橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の各氏は、定数34名に対し、41名が立候補する大激戦の中、「原発ノー」「くらしを守る3議席を」と訴え、現有議席を守り、引き続き、「議案提案権」を確保しました。得票率

橋 祥朗(現)	1930票・34位
吉儀敬子(現)	2132票・30位
田中 肇(新)	2404票・19位
果は次の通りです。	
は6・74%(前回6・28%)でした。開票結果は次の通りです。	

松江市長選 山崎私たちがつくる大健闘

3月29日の立候補表明以来、島根原発2号機再稼働反対、くらし・子育て応援などを強く訴えてきた「私たちがつくる大健闘」の山崎泰子代表は29414票を獲得しました。得票率は31・67%でした。山崎氏は「原発再稼働



公約実現の街頭宣伝に立つ(右から)田中、吉儀、橋の各氏ら(写真上)。支援者に感謝を述べる山崎氏(写真右下)

はしないではない」という思いを、私への投票で示していただきたい。今後一市民として、共闘し

隠岐の島町議選

村上氏 空白克服

日本共産党の村上三三郎（みさろう）氏（83）が当選し、8年ぶりに党議席空白を克服しました。定数16名に対し、17名が立候補する少数激戦を制しました。

村上氏は議席を失って以降も、おき支部長として、傍聴した議会の様子などを「おき民報」でお



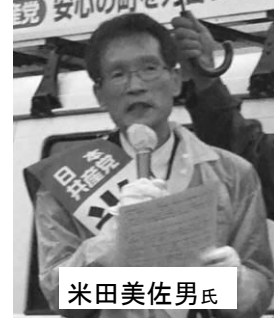
村上三三郎氏

ていただける政党のみならずと一緒に市政に要求していききたい」と語りました。

知らせし、町民の間で「自分たちの思うことが書いてある」と評判でした。選挙中は、▽国保税の1世帯1万円の引き下げ

邑南町議選 米田氏 惜しくも次点

立候補の決意から投票日まで2週間という短期決戦の中でたたかっていた日本共産党の米田美佐男氏（57）が、次



米田美佐男氏

▽介護保険の負担軽減、サービスの充実▽離島の農林漁業振興などを訴えました。各地の演説には、人が集まり、「共産党の村上さんを」と期待の声が広がりました。開票結果は次の通りです。

村上 三三郎(元) 361票・14位

米田氏 惜しくも次点

点で及ばず、党議席空白となりました。定数15名に対し、17名が立候補する少数激戦でした。米田氏は17日、役場前で街頭宣伝し、「公約実現のためにみなさんと力を合わせてがんばる」と訴えました。開票結果は次の通りです。

米田美佐男(新) 216票・16位

県議会 「エネ問題特別委」の設置を 党県議団、民主県民クラブが要求



日本共産党県議団（尾村利成団長）と民主県民クラブ（須山隆会長）は11日、糸原徳康議長に対し、島根原発の再稼働、再生可能エネルギーなどの対策について、幅広く調査・研究することを目的とした「県エネルギー問題調査特別委員会」を設置するよう要求しました。尾村団長は「原発事故

設置見送りへ

13日に開かれた県議会各派代表者会議と議会運営委員会での審議の結果、設置は見送られることになりました。

鼓動

「3議席本当によかった」 「日本共産党がもっと地域に根ざし、あたりまえの主張をもっと市民のもとに届けて、理解し、共感していただければ必ず伸びていけることを確信しました。松江市で3議席を守りぬくことができました。喜びの声が寄せられています。

▼原発再稼働の是非が最大の争点となった松江市長選、市議選。NHKは出口調査で原発再稼働について市民の判断を問うた。結果は「反対」57%、「賛成」43%。今回、市民団体に支えられて大健闘した山崎やすこ市長候補の得票には、原発再稼働ストップの市民の願いがこめられている▼松江市議選は「新人乱立、読めぬ情勢」（中央新報）と報道される激しいせりあいの大接戦。他党の候補が原発再稼働を推進する自らの立場を隠す中、「原発再稼働を許さない」「国保・介護の負担を減らす」「安倍政権の暴走ストップ」などの政策を懸命に訴え、得票率を伸ばして3議席を守りぬいた意義は大きい▼隠岐の島町では、老人会会長として、党支部長として、地道な地域活動を続けてきた83歳の村上三三郎氏が8年ぶりの党議席空白を克服。候補みずから宣伝カーを運転し、街頭演説する奮闘ぶりだった。邑南町では惜しくも次点、出雲市では議席を減らす結果となった。一つひとつのたたかいはしっかりと教訓にして次につなげていきたい▼各地でとりにくんだ住民アンケートに寄せられた願いは切実だ。選挙戦で皆さんから寄せられたたくさんのご支援を力に、公約実現に全力をあげてとりくんでいきたい。今後ともよろしくお願ひします。(後)

江選 松市議 選ばれる議員が原発判断 「原発是非」に回答者26%

「原発ゼロの会」がアンケート結果公表

原発ゼロをめざす島根の会は7日、16日投票された松江市議選の立候補予定者を対象にした「島根原発の稼働の是非を問うアンケート」結果について公表しました。

質問は「島根原発2号機の再稼働」「同3号機の新規稼働」「避難計画の実効性」「脱原発、省エネ、再生可能エネルギー社会の実現」などの5項目。

2号機の再稼働には2人が「賛成」、7人が「反対」、2人が「考慮中」と回答しました。

避難計画の実効性について「ある」が1人、「ない」が7人、「考慮中」が3人でした。

同会は「今回、選ばれる市議が任期中に島根原発再稼働の可否を判断することになる。投票の判断材料にしてほしい」と3月16日、立候補予定者41人にアンケートを郵送。

3月末までに現職9人、新人2人の計11人から回答がありました。残る30人からは回答がありませんでした。回収率は、26.8%にとどまりました。

同会の石橋寛事務局長

地域の話 アタタタ

江 中核市移行は反対 橋議員が討論

2月市議会の最終日、橋祥朗市議は、中核市の指定申出に係る同意などについての委員長報告に対し、反対討論に立ちました。

橋氏は、大合併が推進されて自治体周辺部で大幅な人口減少が起きている時に「地方中枢拠点都市構想」を打ち出し、「中心市」を定めて投資を集中すれば、いっそう周辺部の衰退に拍車がかかるとし、「道州制への道につながる危険性がある」と述べました。

その上で、中核市移行、原発再稼働を前提とした「松江市総合計画」にもキッパリと反対し

大 市長の政治姿勢 福田議員が質す

福田議員「70代の女性は年金が少ない上に、介護保険料や医療費の負担増で生活はますます苦しくなっている」と話している。くらしについて、どう認識しているのか。

また、核兵器禁止条約交渉が3月27日から国連本部で始まる。非核平和都市宣言をしている市として、国に条約の締結を求めるべきと考えるがどうか。

市長「生活意識は、全国の傾向と同様に「苦しい」と推察する。産業振興と経済的負担軽減な

江 介護離職の対策を 多田議員が質問

多田議員「次期介護保険計画を策定する上で、待機者や介護離職を調査する必要があるのではないか。

答弁「調査していないが、国からの指示もあり、ニーズ調査を考えていく。」

多田議員「待機者対策には施設整備が必要だが、高齢者の貧困があり、保険料値上げはできない。国へ支援を求めるべき。」

答弁「機会があれば実施したい。『こうつ民報』より」

は「回収率が低く、意識の差を感じる。立地自治体として原発が争点となるべきだ」と語りました。

「軍学共同研究」は拒む 島根大教職員ら107人がアピール

島根大学(松江市)の教職員有志がこのほど、県庁で記者会見し、「戦争につながる関係機関との共同研究、軍事・戦争に資する研究への参加、協力を一切拒む」とするアピール文を公表しました。

退職者を含む107人が賛同しています。

アピールは「かつて多くの科学者が軍事に参与した歴史をもつ国、そして唯一の被爆国である日本の科学者は、科学の軍事利用の非人道性に対して、最も鋭敏でなくてはならない」と指摘。島根大学に対し、「▽軍学共同へくみみしないという姿勢を明確にし、防衛省が

11年ぶりの議席回復から2年4ヶ月 中国地方の声をまっすぐ届けて



衆議院議員(比例中国) 大平よしのぶ

大平議員 自治体に示した今後の艦載機移駐の具体的スケジュールを示せ。

稲田防衛相 移駐は早ければ2017年7月以降に。具体的には11月頃、FA18の2部隊が移駐。18年1月頃、EA18G部隊及びC2部隊。同年5月頃、FA18の2部隊が移駐する。E2Cから部隊更新されるE2Dは、2月から2、3ヶ月移駐前訓練を岩国で実施し、空母に搭載される。

大平議員 何機が移駐してくるのか。岩国基地全体で配備される航空機は何機になるのか。

稲田防衛相 61機が移駐する見込みだ。現在、米軍機が約60機、自衛隊機が約30機配備されており、総機数は約160機になる。

大平議員 約160機が常駐する米軍基地。東アジア最大規模の軍事基地へと大きく変質する。2016年当初計画と変わった点を示せ。

稲田防衛相 FA18の4飛行隊がすべてスーパーストーンに更新され、EA6BがEA18Gに、E2CがE2Dに機種変更され、機数は59機から61機に増えることを見込んでいます。

大平議員 どの機種変更も騒音が増える要素。KC130空中給油機は12機から15機に増えている。F35Bも配備された。うるささ指数75以上の一種地域は当初見込みより増えるのか。

稲田防衛相 質問通告を受けていないので答えられない。

大平議員 当然、答えられるはず。500鈴が650鈴に増える。東京ドーム32個分、きわめて大きな変更であり、住民説明会を開催すべきだ。

稲田防衛相 今回は「住民説明会を開催しない」との結論に至った。岩国市からは、説明会開催を求めないという回答があった。

大平議員 自治体が態度決定する前に、住民の声が反映されることが必要不可欠だ。説明会開催は、政府にとって最小限の責任だ。一日も早く、住民説明会の開催を求める。

衆院予算委

住民より米軍都合を優先 岩国基地負担の押しつけやめよ

大平喜信衆議院議員は2月22日、衆議院予算委員会第1分科会で、米軍岩国基地(山口県岩国市)が、空母艦載機移駐などにより、東アジア最大級の軍事基地に強化されようとしている問題を告発。住民のくらしや安全より、米軍の都合を優先する「日米同盟第一」の安倍政権を厳しく批判しました。論戦の概要を紹介します。

アピールは「かつて多くの科学者が軍事に参与した歴史をもつ国、そして唯一の被爆国である日本の科学者は、科学の軍事利用の非人道性に対して、最も鋭敏でなくてはならない」と指摘。島根大学に対し、「▽軍学共同へくみみしないという姿勢を明確にし、防衛省が



案内板

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう

第88回 県中央メーデー

とき 5月1日(月) 午前9時20分～

ところ 松江プラバホール

■問い合わせ先 しまね労連 TEL:0852-31-3396